

平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

佐賀県

行 事 名 称	文化財火災防御訓練
実施期間・日時	平成30年1月26日（金） 10時30分～11時00分
実 施 場 所	国指定重要文化財 武雄温泉楼門・新館および旅館街一帯
主 催 者	武雄市、武雄市教育委員会、杵藤地区広域市町村圏組合、武雄消防署、武雄市消防団、武雄警察署、武雄温泉株式会社、武雄温泉旅館組合、九州電力(株)武雄配電事業所

■実施内容

訓練の想定

寒波到来とともに空気が非常に乾燥し、県下においても乾燥注意報、強風注意報が発令中であり、当地では風速7m前後の風が吹く。

そのような気象状況下にある中、平成30年1月26日 午前10時30分頃、武雄温泉楼門亭から出火。

火災の発見が遅れ、建物全体に火の手が回り、延焼拡大、さらには国指定重要文化財の武雄温泉楼門および新館、国指定重要文化財四天王像等を所有する廣福寺へ炎が接近し、危険な状況下にある。

訓練の内容

武雄温泉株式会社による通報訓練、初期消火訓練。

武雄温泉旅館組合による宿泊客の避難誘導訓練、初期消火訓練。

武雄消防署・消防団による出動訓練、文化財等への火災防御訓練。

参加者及び役割分担

- ・武雄市・市防災危機管理課（8名）訓練開始前に、訓練火災であることを地域住民に周知させるための広報。119番通報後、通信員から連絡を受け、サイレンを吹鳴し、武雄市消防団第1分団の出動を要請。
- ・消防署・消防本部（20名）第1出動で1・2小隊及びはしご車隊が出動。文化財保護と建物火災の鎮圧と飛び火警戒。旅館等の宿泊客の避難誘導の指導。訓練終了後、講評。
- ・市消防団（130名）タンク車等への中継および消火活動。山林火災の鎮圧と飛び火警戒。当日の交通整理。
- ・武雄温泉株式会社（13名）119番通報。宿泊客・利用客の避難誘導。屋内消火栓により消火活動実施。散水終了後は本部副隊長に報告。
- ・旅館関係者（37名）消防署員の指導により宿泊客の避難誘導を実施。屋内消火栓により消火活動を実施。散水終了後は本部副隊長に報告。
- ・市教育委員会（3名）観覧者への実施要項の配布。訓練開始の合図。写真記録。

特に工夫した点

訓練地域に絞り、すべて実際の火災現場と同じように、訓練を実施。

事前の関連消防設備の点検・清掃活動の実施。

問題点・課題

訓練のマナー化。

旅館や温泉街の宿泊・観光客との調整。

交通規制に関わる地元との調整。

その他

文化財所有者に対し、防火に関する国からの通達の伝達。
文化財所有者に対し、文化財火災防御訓練の参観の案内。

訓練風景



国指定重要文化財 武雄温泉楼門への消火活動



国指定重要文化財 武雄温泉新館への消火活動